

災害時の避難所の開設と

医師会のかかわりについて

石井 豊

前回中村積方元副会長は会誌で「北区医師会の災害時の対応の経緯」というテーマから結びとして、医師会は独自のそれなりの活動があってもよい、としている。それを踏まえて救急担当理事として現執行部が北区役所との共同訓練に積極的に参加している姿勢について執筆いたします。

阪神淡路大震災から21年が経過し災害による被害の記憶が薄れかけている現実。この時期に今一度災害時の備えを再確認し、北区医師会が去年から北区内の避難所開設時の避難訓練に会員を派遣して積極的に参加しているのは医師会が社会に貢献している姿勢です。そこで今一度行政の設置している避難所のことについて認識して頂きたいと思います。区民は医師会に対しては有事の時には命を守ってくれると期待されている現況のほか、日頃から行政とこういう訓練を積重ねていかないと発災の時パニックになって何もできない可能性があります。

関西大学社会安全研究センター長の河田教授は「アクシデン

ト時は日頃やっていることしかできない。日頃やっていないことは失敗する。」と警告を發しています。近年我々は二つ以上の災害が同時または連続して起きる複合災害を常に念頭におかなければなりません。東京全市が火の海に化した1923年の関東大震災。地震だけではなくその後起きた火災が40時間以上燃え続けたため災害を大きくしました。2012年の東日本大震災は地震、津波、原発事故が複合しておきました。原発による被害はいまも残っており、被災者の人々は不便を強いられています。南海トラフなど巨大地震は今後30年以内の発生率は70%程度と予想されていることを考える時、こういう災害では巨大地震、巨津波、都市部の大火などが複合して起きると想定されます。

もし、こういう災害が起きて避難が必要になったら我々はすぐに行動できるでしょうか？いざというときあわてないためにも、日頃から避難する場所と安全な道順を確認しておいて下さい。

津波や大雨による水害、火災などによる避難の勧告や指示が出たときは、小学校や区役所などに設置しているスピーカーでお知らせするほか、携帯電話への緊急速報メールの配信、テレ

ビ・ラジオなどで放送されると大阪市は広報しています。でも実際に被災したニュースを見てみると行政側の判断ミスが多々出てきます。避難勧告が出ていなくても、気象情報などに注意して自らの早めの避難が大切です。夜中になることもあつて目的ごとの避難所に確実にいくには日頃の訓練が大事です。

以下は大阪市危機管理室危機管理室より提供されている各種の避難所の内容です。大阪市では次のような場所を避難場所・避難所に指定しています。北区にある避難所を示します。

広域避難場所とは、地方自治体が指定した大人数収容できる避難場所のことです。行政上の広域避難場所は「地震などによる火災が延焼拡大して地域全体が危険になったときに避難する場所」のことを指します。一時避難場所が危険になった際に、この広域避難場所に集団で避難してくることもあります。その大きさは、火災の放射熱から身体を守るためにおよそ10ヘクタール以上が必要だとされている。このような目的から、大規模な広場（オープン・スペース）として、大規模公園や団地・大学などが指定されています。よって、避難所（収容避難場所とも言う）のように避難生活をする場所としての位置づけではありません。大阪市は広域避難場所として33か所設定しています。北区に関しては三か所あり、①うめきた東側一帯の大阪市北区大深町、②中之島一帯は大阪市北区中之島、③淀川リバーサイド地区（毛馬桜之宮公園）は大阪市北区長柄東です。

また、広域避難場所までの安全な道路をあらかじめ避難路として指定しています。

一時避難場所とは、災害時の危険を回避するために一時的に避難する場所、または帰宅困難者が公共交通機関が回復するまで待機する場所のことで、公園等の敷地内に建造物の無い場所が指定されている場合が多く、北区では39か所あります。①菅南幼稚園内運動場 菅原町11-2。②浮田公園 浮田2-5。③浮田西児童遊園 浮田2-2。④浦江公園 大淀南3-3。⑤扇町公園 扇町1-1。⑥大淀北公園 大淀北1-4。⑦大淀中公園 大淀中1-9。⑧大淀中5公園 大淀中5-8。⑨大淀西公園 大淀北2-1。⑩大淀南公園 大淀南1-8。⑪鶴満寺公園 長柄東1-3。⑫菅北公園 菅栄町4。⑬もと曾根崎市場 曾根崎2-10-24。⑭黒崎町公園 黒崎町5。⑮毛馬桜之宮公園（毛馬公園）長柄東2。⑯国分寺公園 国分寺1-5。⑰滝川公園 天満4-7。⑱豊崎北公園 豊崎6-13。⑲豊崎中公園 豊崎7-1。⑳豊崎西公園 豊崎5-5。㉑豊崎東公園 豊崎4-7。㉒豊崎南公園 豊崎3-7。㉓中津公園 中津2-8。㉔中津中央公園 中津3-4。㉕中津東公園 中津2-1。㉖中津南公園中津5-3。㉗長柄公園 長柄西2-7。㉘長柄西公園 長柄西1-7。㉙長柄東公園 長柄東1。㉚西天満公園 西天満5-7。㉛野崎公園 野崎町2。㉜東天満公園 天満橋1-7。㉝堀川児童遊園 天神橋3-4。

③4 本庄公園 本庄西3-11。 ③5 本庄川崎公園 本庄東2-6。
 ③6 本庄小公園 本庄東3-4。 ③7 本庄南公園 本庄西1-4。
 ③8 南天満公園 天神橋1-3。 ③9 与力町公園与力町5。
 災害時避難所とは、家屋焼失や家屋倒壊、浸水被害により家に住むことができない方のための避難所です。宿泊・給食等の生活機能を提供できる施設です。小・中学校などがあります。北区内では23か所あります。① 滝川小学校 北区天満1-24-15。② 堀川小学校 東天満2-10-7。③ 西天満小学校 西天満3-12-2。④ もと梅田東小学校 茶屋町1-40。⑤ もと北天満小学校 浪花町14-6。⑥ 済美福祉センター済美中崎町コミュニティホール 中崎西1-6-8。⑦ 扇町小学校 扇町2-7-24。⑧ 菅北小学校 菅栄町9-5。⑨ 堂島地域集会所 堂島・中之島老人憩いの家 堂島2-2-26。⑩ 豊仁小学校 長柄西2-6-20。⑪ 豊崎東小学校 長柄中2-3-30。⑫ 豊崎本庄小学校 本庄西2-1-16。⑬ 豊崎小学校 豊崎4-5-9。⑭ 中津小学校 中津3-34-18。⑮ YMC A 国際学校 中津6-7-34。⑯ 大淀小学校 大淀中4-10-33。⑰ 北稜中学校 天満橋1-1-58。⑱ 天満中学校 神山町12-9。⑲ 新豊崎中学校 長柄東2-2-30。⑳ 豊崎中学校 本庄東3-4-8。㉑ 大淀中学校 大淀中2-1-11。㉒ 大阪市立科学館 中之島4-2-1。㉓ 扇町総合高等学校 松ヶ枝町1-38。
 いずれの避難所も複合災害時には沢山の区民が避難してきて

医師会に救護班の設立及び運営を要請してくると考えられます。一昨年から北区役所は避難所を開設しては地域で被災訓練を実施しています。医師会としては各地区の地元の会員に参加するようにお願いしており都合がつかなければ救急担当理事等が出席しております。各避難所の備蓄物や規模が違うためそれぞれ把握することが重要です。そして、大阪市の外郭団体である社会福祉協議会や女性会がどこまで装備しているのか知るところも大事です。

また、医師会は北消防署とは二年ごとに災害時やテロなどを想定した救助訓練にアドバイザーとして参加しています。医師会は病診連携の会を通じて各病院の救急部がこの訓練に参加するように呼び掛けし災害時に備えています。

『滝川地域における避難所開設訓練』出務報告書

訓練日時…平成27年6月28日(日) 午前9時～

訓練場所…大阪市立滝川小学校(北区天満1-4-15)

安達クリニック 安達 一哉

防災訓練のいろはを知らない私ですが、出務をしたという記録を含め意見を述べさせていただきます。

災害は予測も出来ず、いつでもどこでも時間に関係なく起こりうる可能性があります。よって、いざというときの防災訓練を行うというのは、非常に重要なことは間違いありません。各地域が中心となり、その地域の避難場所（今回は滝川小学校）に集まるのも良いことだと思います。ただ、

防災訓練を行う前に、行政はもとより消防や各地域の責任者、医師会等が避難場所、避難経路、住民の安否の確認方法等をもっと考えていただきように感じました。防災訓練ということで避難場所に集まって皆で楽しんでいるようにしか見えませんでした。本当に震災が起こったら、避難場所とされている所が本当に安全な場所なのか、そうでなかったらどこに避難場所を設けるのか、雨のときは？トイレの設置場所は？医務室が設けられると考えられる体育館は大丈夫なのか？そこまで行ける道は大丈夫なのか、けが人・高齢者等々家から出られる状態なのか等の情報収集、提供方法などの検討が、まず必要なのではないのでしょうか？総論が出来ていないのに、各論を行っても…？と、思いました。

北区医師会としては、震災が起こってからの活動ですが、各地域への医師派遣命令の発動が必要です。だれが、どこに出動したらいいのか決めておいた方が良く考えます。しかも、交代を含め複数のドクターを。それと、看護師さんや事務方も絶対に必要です。

北区医師会員は仕事場と居住地が違う方が多いと聞いておりますので、即座の出動というのは無理なことが多いかもしれません。勿論、先生や家族の方も震災にあつて動けない可能性もあります。

各避難場所で医務室の設置場所（体育館になるかと思いますが）など、設置場所は事前に指示しておくべきでしょう。どこに進言するのは存じませんが。

実際の現場では、応急処置しか出来ないでしょうから、寝かせる場所の確保、毛布、ブルーシートや備品（点滴・消毒・ガーゼ・包帯・テープ等）を避難場所に置いておくことも。

我々も、本当に震災が起こった時に、悲惨な状況下に悲惨なけが人等を病院のベッド以外の場所で、道具もなしに診るということの重大さを認識することも大切ですね。

後送病院の確保、搬送方法・手段（交通網の乱れ）など問題は多いですが、まずは、考えておかないといけないのではないのでしょうか。

私は阪神大震災の時は起こって2週間後に現地入りしました。東日本大震災の場合は2カ月後に現地でした。悲惨ではありましたが、それなりに落ち着いておりました。

南海トラフ地震 起れば甚大な被害を受けそうです。地震、家・ビルの倒壊、火災、津波等の予想がつかない事態が起こる可能性があります。

地元で起こった震災は、起こった直後からのスタートです。初動を迅速にするには、行政、地域の方、医師会の全てが、まず、最低限 机上でもシミュレーションを繰り返し（これが出来ないということは承知の上ですが）、それを元に現場での防災訓練が必要だと思います。

以上、当たり前のことですが報告とさせていただきます。

追伸 各先生方がそんなことは百も承知ということ、会合に参加していない私が敢えて書かせて頂きましたこと、深くお詫び申し上げます。

『滝川地域における避難所開設訓練』出務報告書

訓練日時…平成27年6月28日（日）午前9時～

訓練場所…大阪市立滝川小学校（北区天満1-4-15）

田淵医院 田 淵 義 勝

体育館内の救護所の医師として参加し、担架にて運び込まれた模擬患者対応をした。

救助用品に行いて意見を述べた。血圧計は必須であると強調した。薬品、医療、備品の統一的な検討が必要である。

『堂島・中之島地域における避難所開設訓練』出務報告書

訓練日時…平成27年10月10日（日）午前10時～

訓練場所…堂島地域集会所（北区堂島2-2-26）

桜橋渡辺病院 渡 辺 真一郎

堂島地区避難所（堂島小学校あと地）にて地域住民（約30名）が集まり、消防、警察、淀川水防団、NTT、区役所の職員から、消火実技、土のう作り、土のう積み、AEDを使った救命処置実技、NTT災害用伝言ダイヤル（171）などの実技と説明が行われた。救護所では私がトリアージカードを用いてタシカで搬送されたケガ人に対して、そのカードの使い方など説明し、医師以外のコメディカルの必要性を話した。最後に非常食（メ米とレトルトカレー）の炊出し訓練の後にこれを食べて訓練を終了した。訓練の必要性を感じた!!

『堀川地域における避難所開設訓練』出務報告書

訓練日時…平成27年11月15日(日)午後12時45分～

訓練場所…堀川小学校(北区東天満2-10-7)

うえやま内科 上山 勝生

訓練では必要ないかもしれませんが、職種が解るように名札か白衣があってもいいように思います。

数日以上避難することが予想されるのであれば、血圧計、聴診器が用意されていたほうがいいと思います。

『堀川地域における避難所開設訓練』出務報告書

訓練日時…平成27年11月15日(日)午後12時45分～

訓練場所…堀川小学校(北区東天満2-10-7)

大阪中央病院 大野 秀樹

避難所に開設される診療施設での実診療に必要な物品(備品)について再考を希望します。(血圧計は必要でしようし、救急箱の内容についても再考を「体温計」は水銀体温計でした。)

『済美地域における避難所開設訓練』出務報告書

訓練日時…平成27年11月23日(月)午前10時～

訓練場所…済美福祉センター(北区中崎西1-6-8)

大原クリニック 大原 裕彦

AM10:00地震発生。順次地域住民が避難目的で集合。

北野病院木内先生と出務。消火訓練、煙道通過訓練、AED講習などが行われていた。救護所はホールの一部の部屋に設置されていた。災害の設定が事前にわからなかったため、聴診器、血圧計、パルスオキシメーターを持参した。救護所内には簡単な救急箱と生理食塩水が設置されていたのみ(体温計も水銀計)。模擬患者2名(左大腿骨折の疑い、頭部に打撲)あり、診察し、一名は救急搬送を依頼した。簡単な記録用紙が準備されていたが、救護所での作業する人員の配置がなかった。

『済美地域における避難所開設訓練』出務報告書

訓練日時…平成27年11月23日(月)午前10時～

訓練場所…済美福祉センター(北区中崎西1-6-8)

北野病院 木内 俊一郎

市内には小さい地区ごとにしつかりとしたコミュニティが形成されており、その中心となる建物、設備なども準備されていることをはじめて知り勉強になりました。実際の災害に対応できるだけの高度な訓練も必要かも知れませんが、その地区の住民が災害の時にどこに行けばいいのかを認識するためにも、今回のような気楽に参加できる雰囲気作りも大切なのだと感じました。

『北天満地域における避難所開設訓練』出務報告書

訓練日時…平成27年12月6日(日)午前10時30分～

訓練場所…もと北天満小学校(北区浪花町14-6)

大原クリニック 大原 裕彦

地震発生直後の想定。訓練は芝生のグラウンドにて行われてい

た。テントの下に救護所を設置。救急箱と洗浄用の水を入れるポリタンクが配置されていた。AED講習、消火訓練、担架による負傷者搬送、煙中訓練の4班に分かれ行われていた。それぞれの班が、負傷者を3～4名搬送するため、避難所で十数人の模擬患者の対応を行った。疲労感あり。血圧計、聴診器、パルスオキシメーターの携行は必要と思われる。